



1. デート特有の緊張感

テクニックを紹介する前に、実際によくあるデートのシチュエーションと一緒に考えてみましょう。

皆さんは、過去の経験を振り返ってみて、女性とデートする前に、「私で大丈夫かな？」というような期待や不安が入り混じった気持ちになったことはありませんでしたか？

少なくとも、昔の私は常にそんな状態でデートに臨んでいました。

その不安感や緊張感というのは、相手の女性に伝わりデートもあまり楽しかったものではなかったと思います。

自分に自信が無い状態で臨むデートは最悪の結果になります。

もちろん、それでも一生懸命さが伝わりそれを喜んでくれる女性もいましたが、ひどい時には、LINE をブロックされたり、2回目のデートに誘っても断られたり、うまくいく可能性はとても低かったです。

しかし、何人かの女性とデートに行く中で、徐々にデートに対する「嫌な緊張感」というのが徐々になくなっていきました。

と同時に、「レディーファーストの考え方」を学びそれを実践したところ、2回目以降

のデートに行ける事が格段に上がっていきました。2回目のデートにも行けるようになるとそれが自信になり、レディーファーストもより自然にできるようにまで成長できました。

するとどうでしょう。

この点が**他の男性との差別化**に繋がり、「恋愛参謀さんは特別な存在」だと言ってもらえることも多くなりました。

そのおかげで、「**自分に自信が付き、さらにデートがうまくいくようになっていき、女性からよりモテるようになる**」というモテスパイラルに入れたんです。

自分に自信が無い方でも大丈夫です。レディーファーストを実践することで、あなたのデートレベルは劇的に変わっていきます。

難しく考える必要はありません。レディーファーストはやるかやらないかだけです。

そもそも、レディーファーストとは、「**女性への気遣いを態度に示す事**」です。

こう聞くと、「なんだ。そんなことか。」と思う人もいるかもしれません。

最初からできている人は何の問題もありません。

しかし、私がデートしてきた200人以上の女性達は、「レディーファーストを初めてしてもらった」という方ばかりでした。

それだけ世の中の男性の中には、まだまだ男尊女卑の考え方が根付いていて、「レディーファースト」というものが浸透していないのでしょうか。

逆に、「レディーファーストなんて恥ずかしくてできないよ・・・」と感じている人もいるかもしれません。私も最初はそう考えている一人でした。

しかし、難しく考える必要は全くありません。「レディーファーストとは、女性への気遣いを態度に示してあげる事」です。

実際に、私が実践しているレディーファーストはかなり簡単なもので今からでもすぐに実践できるものばかりです。

これを変に意識せず自然体でできるようになれば、一段も二段も上のスマートな男性になれる事は間違いありません。

■具体的なテクニック紹介

さて、これから、私が具体的に行っているの「主な8つの所作」について書いていきたいと思います。

<日常編>

- ① 男性が常に車道側を歩く
- ② 歩くペースを女性に合わせる
- ③ メイン以外の荷物を持つ
- ④ エスカレーターでは下側に立つ
- ⑤ エレベーターでは扉を手で抑えてあげる

<お店編>

- ⑥ 入店時は扉を開けてあげて女性を
- ⑦ 女性を上座に座らせる
- ⑧ お会計をスマートに済ませる

見てもらえば分かると思いますが、全部凄く簡単なことばかりです。
ここから、内容を1つずつ解説していきたいと思います。

① 車道側を男性が歩く

これは昔から広く言われているので、よく聞くことだと思います。

車道を男性が歩く理由は、「雨の日に車が水たまりを通った際に、水滴があたらないように女性を車道側に歩かせない」という考えや、「万が一自転車などと女性がぶつからないため」と言われています。

この「車道側を歩く」ということに関しては、上記以外にも副次的な効果があります。

それは、**嫌味なく女性にボディタッチすることができる**ということです。

例えば、横断歩道を渡った際に、車道側の位置が例えば左側から右側にずれてしまうことがあります。その際に、**女性の腰を少し支えて、自分が車道側に行きます。**

文章で読むと、「わざとらしい」と感じてしまうかもしれませんが、これを自然体でするだけで女性に軽くボディタッチをすることができ、なおかつ「この人はレディーファーストをしてくれる人だ」と認識してくれます。

実際にこの手法を、女性と出会ってから10分以内には試すようにはしていますが、非常に効果があります。

現在付き合っている彼女も、「あの瞬間は凄くどきっとした」と言っていましたし、その他の女性からも、「この人はレディーファーストをしてくれる」とか、「嫌味なくパーソナルスペースに入ってきてくれた」「スマートに振る舞えて凄い」と言われることばかりです。

これだけでも、次のデートから即実践してください。効果は絶大です。

この際、**重要な点は堂々と自然体でやること**です。緊張感たっぷりできちなくやってしまうとは女性も嬉しく思えなくなってしまいます。

② 歩くペースを女性に合わせる

これはかなり重要なことです。そもそも、女性は男性よりも背が低いケースが多いので、歩幅が違います。そのため、1歩の大きさも違うので、男性の歩くペースよりかは多少なりとも遅れてしまいます。

しかし、それを初対面の男性に伝えられる女性は中々いません。

男性のペースに合わせて歩いてくれる女性がほとんどだと思うので、逆に男性側が歩幅を合わせるだけで、女性からかなり喜ばれます。

具体的には、一緒に歩いて30秒ほどした段階で、相手の女性に対して「歩くスピード早くない？」と聞いてあげるのがベストです。

よりスマートに行くためには、女性の歩くスピードを見極めて、それに自分のペースを合わせてあげてください。

特に気をつけなければならないパターンは、**女性が高めのヒールを履いている場合**です。

普段から履き慣れている方だったらいいですが、あなたとのデートのために、心の中では歩きづらいと思っても、わざわざ高いヒールを履いてきてくれる女性もいると思うので、そんな時にこそ、ぜひ実践してみてください。

③ メイン以外の荷物を持つ

優しい男性は心がけている方も多いと思いますが、一点だけ気を付けてください。

女性が1つしかカバンを持ってないのに持ってあげる事は絶対NGです。なぜなら、カバンは女性のファッションの一部でもあるからです。

更に言うと、1つしかない荷物を男性が持っている、周りの第三者からは、「なんであの女は彼氏に荷物持たせているんだ？随分と生意気だね」と思われてしまうリスク

が高いからです。少なくとも僕はそう思っています。

以上を踏まえて、具体的に持ってあげるものとしては、メインのカバンではなく、買った際の手提げカバンやもう一つ持っているような小さい鞆を持ってあげるようにしましょう。

これもさりげなく、「女性に持ってあげようか？」と聞くのではなく、「それは僕が持つよ」と言ってあげてください。それで女性が「いらない」と言えば持たなくていいですし、「ありがとう」と言ってくれれば持ってあげればいいです。

この言い方にも意味があって、相手に聞くスタイルでは、女性も「持ってほしい」とはお願いしづらいものです。ですが、既に「僕が持つよ」と断定していれば、女性としても「じゃあお願いしようかな」と頼みやすくなるのです。

実体験として、「過去に常にカバンを持ってくれる男性がいたけど、常にメインのカバンまで持たれたことは正直嫌だった。でも、優しさを傷つけるようでは言い出せなかった」と言っていた女性もいました。その点、「恋愛参謀さんはスマートにカバンを持ってくれる男性」とこれだけで評価が上がることもあります。

④ エスカレーターでは下側に立つ

エスカレーターに乗る際に、昇り降りどちらでも女性の下側に立ってください。上りなら女性を先が先、下りなら男性が先です。こうすることで、もし何かあって女性が転んでしまった時にあなたが支えることができます。また基本的に女性の方が背は低いので顔の高さも合います。またスカートの場合は他の男性からのパンチラ防止にもなります。

実際に私はこれを普段からしているので、会社の年上女性に「恋愛参謀さんはレディーファーストができる人」と私の知らないところで社内の女性陣に知らないところで周知してもらっていたおかげで、会社の若い女性とデートの約束をすんなり取り付けることができました。

⑤ エレベーターで扉を抑える

エレベーターに乗った際は開ボタンを押して女性を先に降ろすようにしましょう。エレベーターの機種によっては問答無用で自動で閉めてくるパターンもあるので、しまってしまう不安をなくして降ろしてあげてください。

〈お店編〉

⑥入店は女性から

お店に入る際には、自分が扉を開けてあげて女性をエスコートしてあげましょう。2枚扉がある場合はまずは自分が入り、2枚目の扉を開けて女性を先に入れてあげてください。

扉がなくオープンの場合は入り口が広ければ一緒に入り、狭い場合は女性を先に行かせてあげてください。

この際、女性に先にお店には入ってもらいますが、店員さんにはあなたが声をかけて予約名を伝えるなどしてください。

⑦ 上座に座らせる

これは基本的に多くの方が出来ていると思いますが、逆にできないと大減点を食らいます。

実際に私が女友達と飲んでいる時に、その女性が最悪のデート例として「上座に男性が座ったデート」を挙げていました。結局ここで気遣いが出来ない人は、会話も終始自分の話というパターンが多いので、結果的に印象が最悪になるのですが。。

「上座」といっても、席から見える景色やソファーと椅子といったもので異なりますので、イレギュラーなケースもあると想定しておきましょう。(下見推奨)

夜景を推しているレストランの場合は、手前側に女性が座った方がいいケースもあります。

ソファーがある場合は、ソファー席は女性に座ってもらうようにしましょう。

男性がソファー席に座り女性が椅子席の場合、男性のお祝い事でもない限りはみっともないので絶対に辞めましょう。

⑧ お会計をスマートに済ませる

私は、「初デートは絶対にご馳走する」と決めているのでそれが前提となりますが、例えば食事終盤に「お手洗いは大丈夫？」と確認して、女性に席を立つよう促します。そして、女性が席を外している間に会計を済ませます。

会計でもたつくのは最後の最後にイメージが一気に悪くなるのでなんとしても避けましょう。

「女性に全奢りするの？」と思う方もいるかも知れませんが、ここは絶対に奢らないとだめということでは全くないです。初デートで割り勘というのは女性からすると、「こ

の人私には本気じゃないのかな？」と思ってしまう可能性が高いので、せめて 6:4 や 7:3 くらいで多めに出してあげましょう。ご飯の食べている量はお酒の量からしても男性の方が多くなるケースが多いと思うので。

これは余談になりますが、一軒目をご馳走した時に女性が「二軒目は私に出させて」と言ってくるかで、その女性の価値観を判断するようにしています。

ここで、こういった気遣いが出来る女性を私は本命候補として考えるようにしていますし、こうした一言をサラッとと言える女性に惚れますね。

■まとめ

以上が、女性に喜ばれるレディーファースト8パターンです。

レディーファーストが出来るかどうかは、女性からの評価を大きく分ける重要な要素になります。

「女性を女性として扱ってあげる」これが非常に大切なのです。レディーファーストを知っている女性にはやらないとマイナスになりますし、知らない女性にはするだけで大きなプラスになります。

たとえデート前のあなたの印象がちょっといまいちだとしても、**レディーファーストをし**
っかりとすることが出来れば、女性の気持ちをがっしり掴むことも可能です。

レディーファーストに関しては、ネットで調べるといろいろ記事が出てくと思いますが、皆さんの意見がバラバラだったりするのであまり参考にはなりません。

私が実践していく中で「女性からよく褒められたもの」かつ「すぐに実践できるもの」を厳選し、8つだけ今回は紹介しました。

他にも実践していることもあるので、ご興味ある方は LINE@でのご連絡をおまちしております。